



株式会社ロゼッタ

2018年2月期 第1四半期
業績説明資料
(2017年3月～2017年5月)

株式会社ロゼッタ (東証マザーズ : 6182)



2017年7月14日

ご留意事項

- 本資料は、株式会社ロゼッタの業界動向及び事業内容について、株式会社ロゼッタによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2017年7月14日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本資料のお問合せ先
株式会社ロゼッタ
社長室 酒井・春山

お電話でのお問合せ：03-6685-9570

FAXでのお問合せ：03-6685-0672

メールでのお問合せ：ir@rozetta.jp

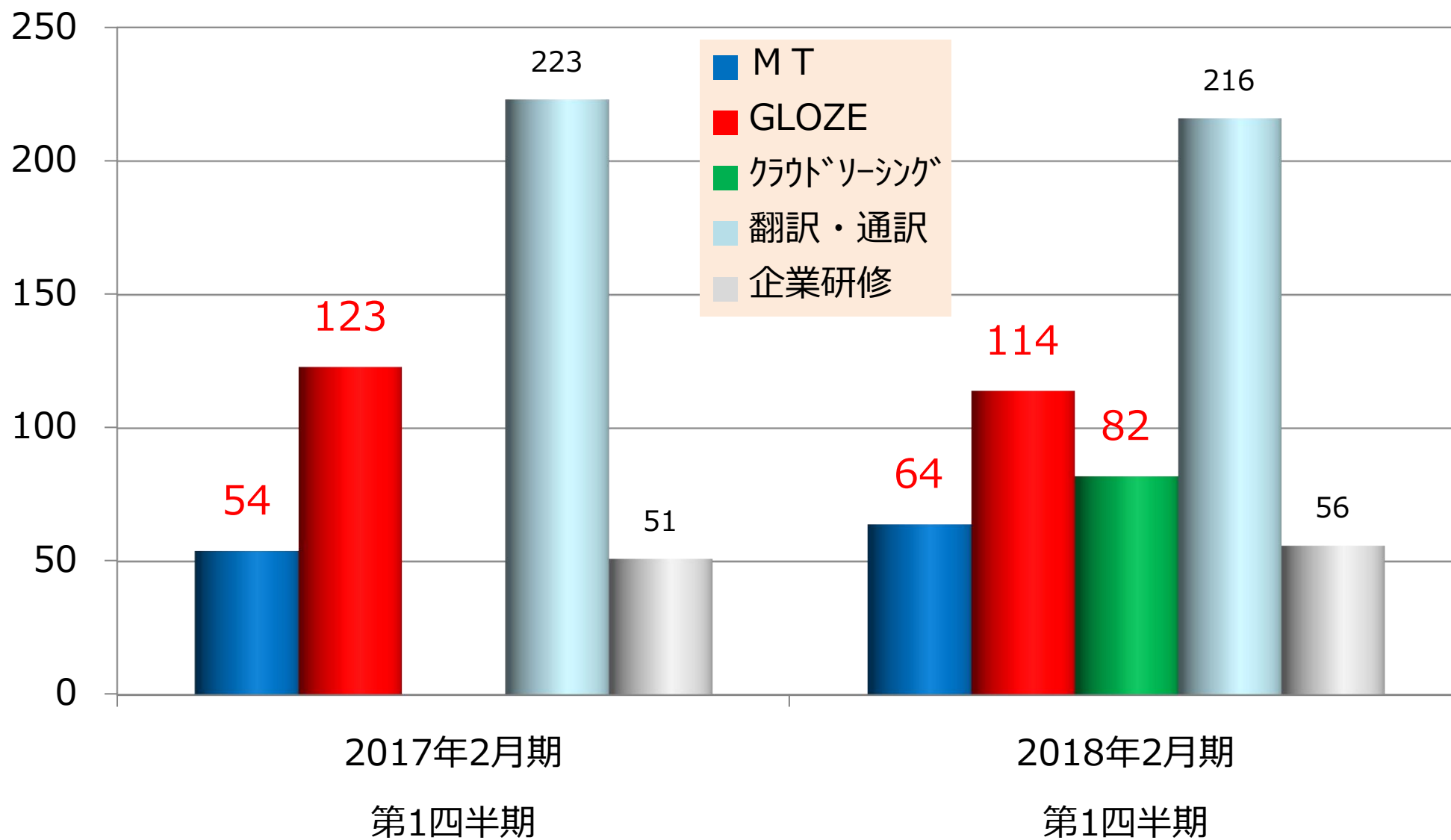
- ① 2018年2月期第1四半期は、前年同四半期に対し人件費・採用費・支払手数料・のれん償却費など販管費が増加し、増収・減益となるも、**今期会社計画を上回って推移**
- ② **新規事業の売上シェアは49%**（2017年2月期:41%）
新規事業の営業利益シェアは39%（2017年2月期:25%）
- ③ **NMT（Neural Machine Translation）の開発は順調**

2018年2月期第1四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2017年2月期 第1四半期	2018年2月期 第1四半期	前年比	会社計画	計画比
売上高	452	533	117.9%	532	100.1%
売上原価	201	228	113.5%	239	95.3%
売上総利益	250	304	121.5%	293	104.0%
販売費及び一般管理費	179	267	148.8%	269	99.4%
営業利益	71	37	52.5%	24	155.7%
経常利益	71	37	52.8%	23	158.3%
四半期純利益	46	17	37.6%	8	218.5%

セグメント別売上高 前年同期比較

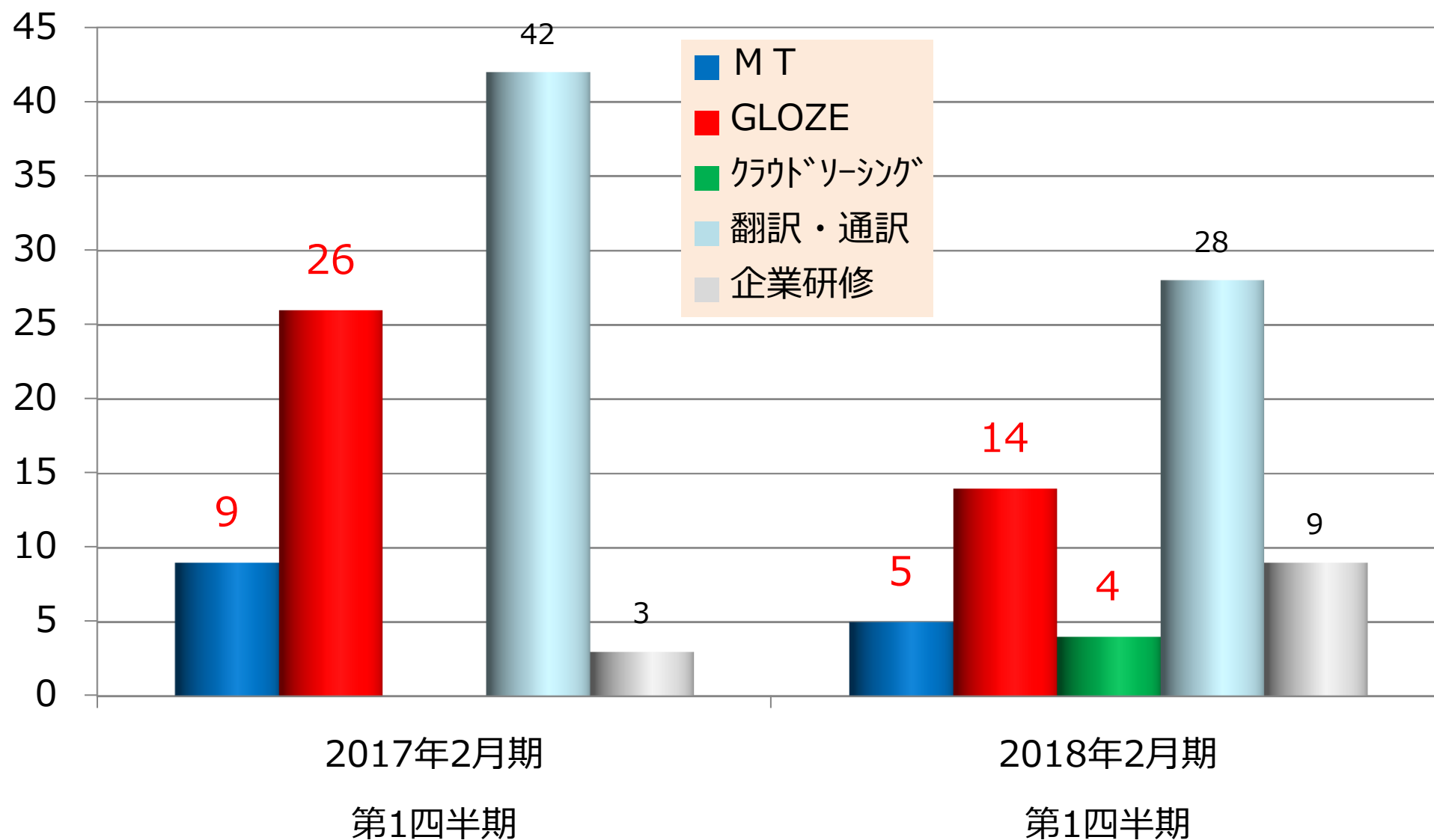


2018年2月期第1四半期 セグメント別売上高

(単位：百万円)

		2017年2月期 第1四半期	2018年2月期 第1四半期	前年比	構成比
新規事業	M T 事業	54	64		
	G L O Z E 事業	123	114	147%	49%
	クラウド ソーシング事業	—	82		
既存事業	翻訳・通訳事業	223	216	99%	51%
	企業研修事業	51	56		
合 計		452	533	118%	—

セグメント別営業利益 前年同期比較



2018年2月期第1四半期 セグメント別営業利益

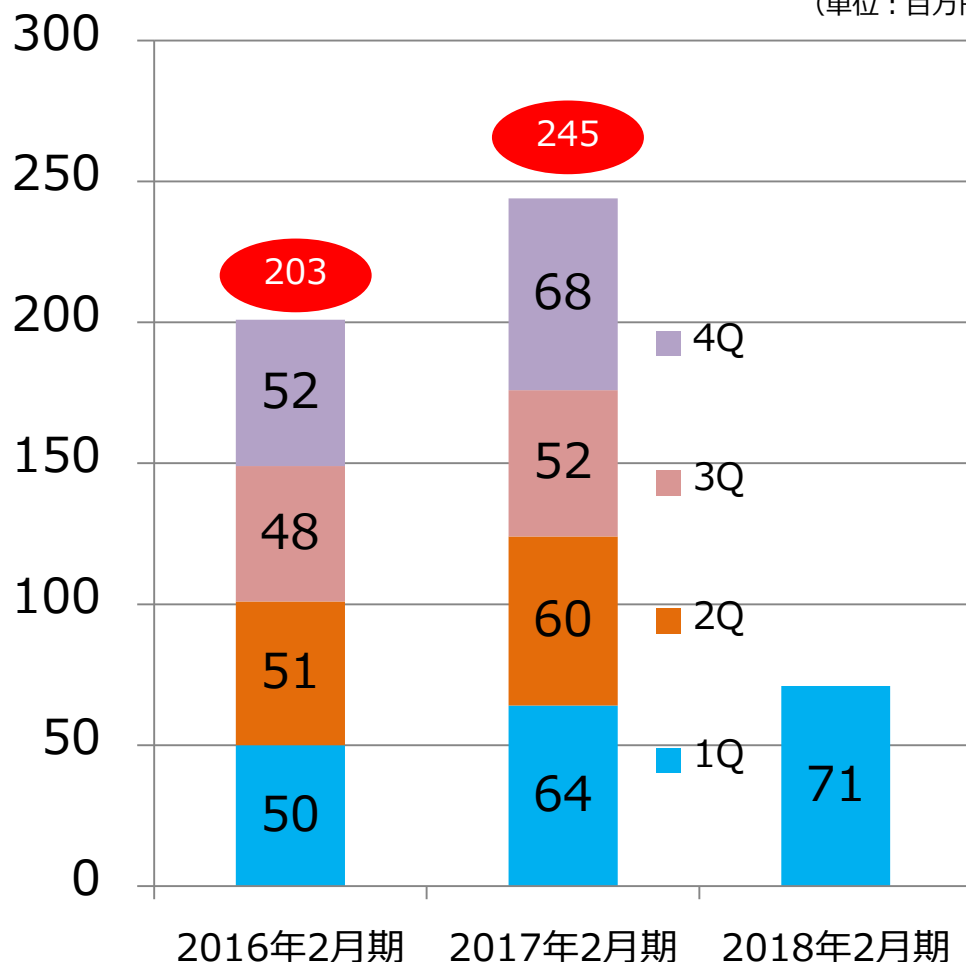
(単位：百万円)

		2017年2月期 第1四半期	2018年2月期 第1四半期	前年比	構成比
新規事業	M T 事業	9	5	68%	39%
	G L O Z E 事業	26	14		
	クラウド ソーシング事業	—	4		
既存事業	翻訳・通訳事業	42	28	81%	61%
	企業研修事業	3	9		
	調整額	△10	△24		
合計		71	37	52%	—

MT事業・GLOZE事業 受注高推移

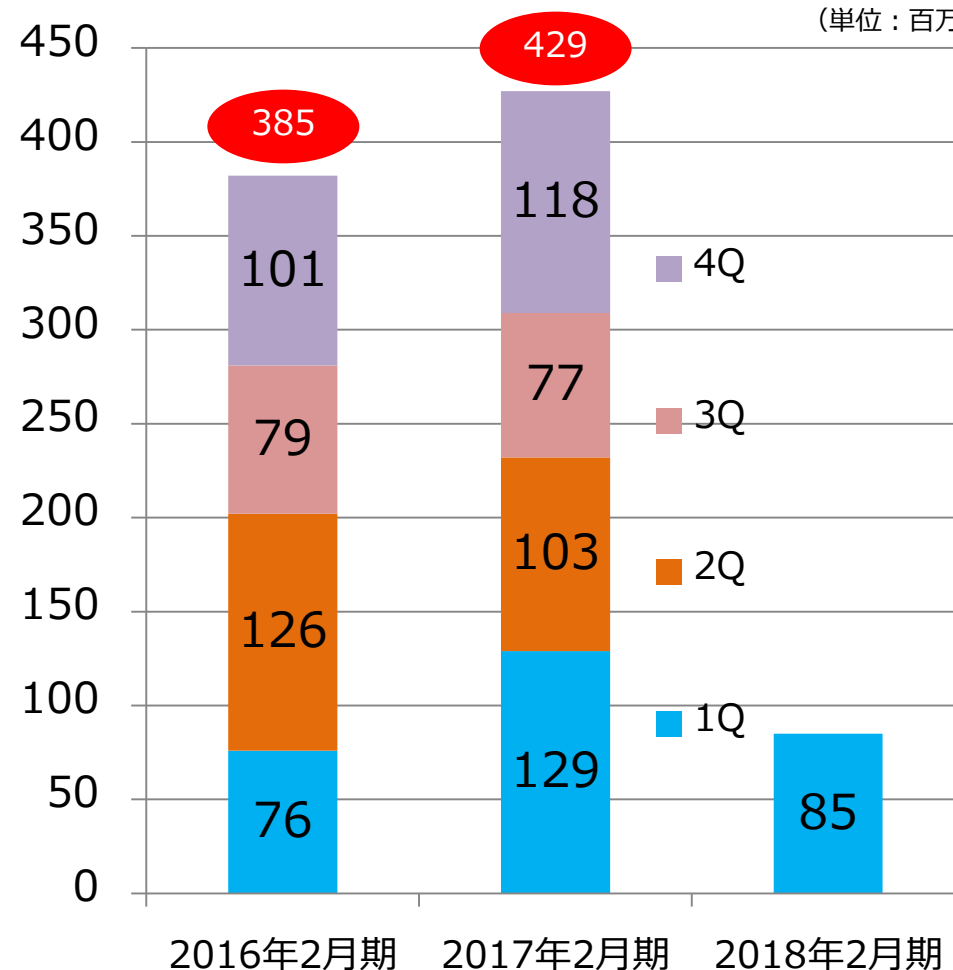
【MT事業】

(単位：百万円)



【GLOZE事業】

(単位：百万円)



- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。
- ・ 【自動翻訳】は、SaaS『熟考』シリーズの受注売上のうち、初期費用と年間利用料のみに限定。（リライト・DTP等のオプション売上、リソースデータ販売等の売上を除く）
- ・ 【自動翻訳】【GLOZE】ともに、外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。

- 中間期および通期の業績予想の修正はありません。

(単位：百万円)

	2017年2月期 中間期実績	2018年2月期 中間期予想	前年比	2017年2月期 通期実績	2018年2月期 通期予想	前年比
売上高	851	1,105	129.8%	1,908	2,420	126.8%
営業利益	99	88	88.7%	226	330	146.0%
経常利益	99	88	88.7%	234	330	140.8%
当期純利益	58	47	79.7%	169	200	117.8%



株式会社ロゼッタ

中長期ビジョン



将来、自動翻訳の時代が来るまで徐々に機械化が進み
「労働集約型」から「テクノロジー集約型」へ
「零細乱立の村状態」⇒「寡占が起こる高度な産業化」

翻訳 3 事業の中期推移 (イメージ)



*出所：(株)矢野経済研究所「語学ビジネス市場に関する調査を実施（2016）」による通訳・翻訳ビジネス市場の売上高推定

【前提条件】

- ・NMT (Neural Machine Translation) の開発先行投資を織り込み済み
2018年2月期:3.6億円、2019年2月期:4.3億円、2020年2月期:5.4億円
- ・既存事業は成り行きベースで試算
- ・業務提携およびM&A等は考慮せず

(単位：百万円)

	2017年2月期 実績	2018年2月期 計画	2019年2月期 計画	2020年2月期 計画	2017年2月期 対比
売上高	1,908	2,420	2,984	3,676	1.9倍
営業利益	226	330	540	901	4.0倍
経常利益	234	330	511	900	3.8倍
当期純利益	169	200	315	585	3.5倍

これまでとこれから

2015年

分野別

専門用語に強い！
考える自動翻訳機 **熟考**

熟考2015

2015種類の専門分野別に細分化

2017年1月

顧客別

御社専用の自動翻訳AI

T-400
Translation for Onsha Only

T-400

(Translation for Onsha Only)

顧客企業別のテイラーメイド自動翻訳システム

2017年-2018年

ニューラル

大幅な精度向上となるNMTを各種分野へ適用
(Neural Machine Translation)

専門分野ごとに対応 訳文精度 60-70% ⇒ 80-90%

2022年



T-4PO (完成形)

(Translation for Private Only)

訳文精度95%

画像/音声認識AR

ウェアラブル端末内蔵型

画像認識



T-4PO

完成形イメージ



音声認識

左に曲がって、突き当りに
レストランがあります。

You turn to the left, there
is a restaurant on the end
of the road.

自動翻訳



株式会社ロゼッタ